

渡辺ハウジングOBの皆様と
未来のお客様にお届けする

やすらぎ通信

渡辺ハウジング
03-3959-8743



これから梅雨の本番になりますが、今年にはコロナウイルスの影響による緊急事態宣言とも時期が重なっていて、一層気が重くなりがちです。

確かに雨が続きと憂鬱な気分になりますが、子どもたちは雨を楽しんでいるようです。水溜りを見つけるとわざわざダッシュし、派手に水しぶきを上げて喜んだり、新しい傘や長靴が嬉しくて雨を待ちわびたり・・・
大人は楽しさより煩わしさが勝りますが、雨は自然の恵みでもあり、災害をもたらすこともあります。状況に合わせて雨と上手に付き合っていきましょう。



家を建てる段取り (10)

引き続き、家を建てる際に大切な段取りについて書かせていただきます。どんな段階を経て家が完成するのかを楽しみながらご理解いただければ幸いです。

【一番大切！？ お金のこと】

土地の取得と家の建築には大変なお金が掛かります。ほとんどの人は、家のためにローンを組んでその費用を借りることになります。

家に妥協をしないあまり、無理なローンでその後何年も生活を圧迫することになっては困りますね。収入の見込みや子供の教育費などを冷静に見積もって、無理のない返済計画を立てましょう。



予め、総予算の中で土地と家に掛ける割合を、ある程度決めておきます。土地の価格は場所によって大幅に異なることがありますので、予定しているエリアの路線価、地価の相場をよく調べておきましょう。土地と家の代金以外にも、段階に応じて細々とした費用が掛かります。慌てないためにも、心づもりを怠らないようにしておきましょう。

※支払う費用の一般的な流れ(業者によって変わります)

- ① 検討・商談・見積もり
 - ・申込金 ・地盤調査費 ・設計契約金
 - ・ローン申込み代行手数料
- ② 設計・工事契約
 - ・印紙税 ・建築確認申請費用 ・契約金
- ③ 解体工事 (建て替えの場合のみ) ・解体工事費
- ④ 着工
 - ・工事着工金 ・地鎮祭の費用
 - ・引っ越し代金 ・仮住まい費用 ・上棟式の費用
 - ・工事中間金
- ⑤完成・入居後
 - ・工事残金 ・登記関連費用
 - ・ローン事務手数料 ・保証料 ・火災保険料
 - ・不動産取得税 ・その他



次回に続く

「くちなし」

くちなしは、そろそろ夏の気配を感じ始める頃に白色の花を咲かせます。

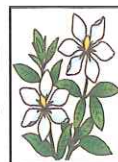
花弁はフェルトのような優しい風合いをしており、咲き始めは真っ白、咲き進むに従って薄いクリーム色、そして最後はカスタードクリーム色になり、しおれてしまいます。

花の形は八重咲きと一重咲きがあります。甘い香りが特徴的で、その香りは特に夜になると強くなるといわれています。

初夏の夜に強い香りを感じて辺りを見回すと、くちなしが咲いていた・・・なんてことはありませんか？

くちなしの葉は光沢のある長い楕円で濃緑色、葉脈がはっきりしています。

花言葉は「喜びを運ぶ」「とても幸せです」
憂鬱な梅雨時は、甘い香りに癒されるかもしれませぬ。



女の子と赤い傘



今、外に降る雨を見て、ふと思い出した出来事がある、と教師をしている知人が話してくれました。

あれは、そう・・・6月、梅雨空の続くある雨の日のことでした。

ある放課後、ひとりの子が、

「先生、木に傘が引っかかっています」と、職員室へ私を呼びに来ました。

早速その場へ行ってみると、木の枝の少し高いところに、赤い傘が1本、開いたまま引っかかっています。

枝から降ろしてみると、傘に1年生の女の子の名前が書いてありました。

「きっと、風でも吹いて引っかかったのだな。その子は今頃困っているだろうな」

「でも・・・、引っかかってしまったのなら、そのことを、職員室まで言いに来たらよかったのに」と思いながら、持ち主の子どもの家に電話をしました。

生憎、その子は未だ帰宅しておらず、家族の方に事情を説明し、明日その傘を返すので心配しないようにとその子に伝えてほしい、とお願いして電話を切りました。

するとしばらくして、その女の子のお父さんから学校に電話がかってきたのです。

そして、「実は、・・・」と言いながら、娘さんから聞いたことを話してくれました。

傘が木に引っかかってしまい、取れなくなったのじゃなくて、娘がわざと傘をその木に引っかけてきたそうなのです。



私も驚いて、どうしてそんなことをしたのかと聞くと、娘が言うのには、その木はとても大切な木なんだそうです。

可愛い実が沢山なる木なんだそうです。

実をとっていたら突然雨が降りだして、どうしようかと困ってしまったそう。

そこで、持っていた自分の傘を思わずその木にさしかけて、大切な実に雨が当たらないようにして帰ってきたそうです。

「いやー、本当にお騒がせな娘です。困ってしまいますよ。まあ、そういうわけでしたので、大変お騒がせして申し訳ありませんでした」

そういうお父さんの声は、

どこかしら少し嬉しそうでした。



次の日、赤い傘をとりに来た女の子の少し恥かしそうな顔を見ながら、私の心も少し温かくなったことを、つい昨日のこのように覚えています。

今日もこの雨の下、どこかで、やさしい心を持った子どもが傘を持ちながら、困った顔をしているのではないかな？と、少し心配に、そしてほんの少し期待しながら、窓の外に降る雨を、眺めています。

なんてやさしい心を持った子なのでしょう。

お父さんにとっては自慢の娘さんですね。

「編集後記」

東京五輪もあと1ヵ月で開催？

G7サミットで、参加国の首脳がマスク無しで談笑する姿が公開され、新型コロナに打ち勝つ世界の団結をアピールしていましたが、日本では20日までとされている緊急事態宣言は解除されるのでしょうか。

コロナ感染者数が思い通りに減少しない中、東京五輪が決まった時のあの感動が薄れていくのが残念です。

頑張っているアスリートの皆さんたちに、大きな声援を送りたいのに・・・思いは複雑ですね。

体調管理を徹底し、どうぞお元気で過ごしてください！

今月号もお読みいただき有難うございました。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子